



学力UP便り



平成30年7月24日(火)

第3号

発行：学力向上チーム

「時計」の学習について

まもなく1学期が終わろうとしています。1～3年生の子どもたちはこの間、「時計」の学習に取り組んできました。

1年生は1学期に、時計の「何時、何時半」を読めるように、また、2学期以降に、より細かい時計の読み方について学習します。

2年生は「時刻と時間」の違いや、「1時間=60分、1日=24時間」であること、午前、正午、午後の意味や使い方、1時間後の時刻、30分前の時刻、1時間20分は何分か等の簡単な変換、などについての学習を行いました。

3年生では、3時40分から4時25分までの時間、など、計算などを通しての時刻や時間の求め方や、「1分=60秒」であることについて、ストップウォッチの読み方などについて学習しました。

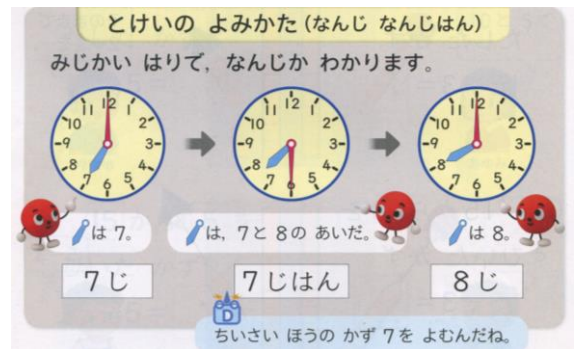
そして実は、「時計」に関しての学習は、これで終わりです。つまり、4年生以降は学習の機会がありません。

私たち大人にとっては、時計の読み取りや時間、時刻を求めることは「常識」なのですが、子どもたちにとって、実は、なかなかハードルの高い学習です（一緒に学習をしているの、実感です）。

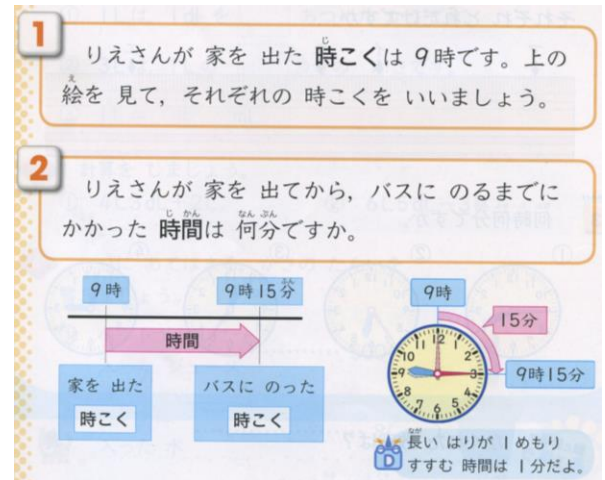
デジタル時計が主流になりつつある世の中ですので、針の時計を読んだことのある「経験」が多くない子もいますし、同じ文字盤上にありながら、長針と短針の読み方が異なることや、「60」が一区切りになること、分針は「5ずつ数えること～1」、2年生は、まだ九九を学習していないので、「5とび数え」は易しくありません～など、「新しいこと」が多く含まれる学習であるという点も、ハードルの高さの理由ということができます。

まもなく、夏休み。子どもたちにとっては、ご家庭での、「(広い意味での) 学び」の期間です。ぜひ一度、一緒に「針の時計」を読んでみていただければと思います。そして、子どもたちにとっての「難しさ」や、子どもたちの「そうか!」を一緒に味わっていただければありがたいと考えています。子どもたちの「時計」への理解は、きっと、とっても深まるはず。どうぞよろしくお願いいたします。

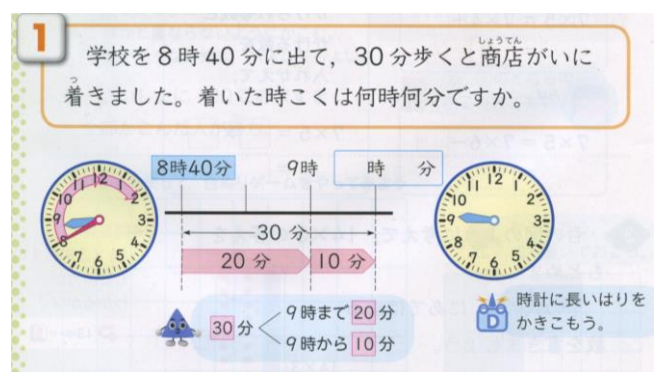
子どもたちと、すばらしい夏休みをお過ごしください!



1年生の教科書より



2年生の教科書より



3年生の教科書より